

令和07年度 第4回 昭島警察署協議会 議事概要

開催日時 令和08年03月25日 午前10時00分～午前11時30分

開催場所	昭島警察署 署長室	出席者	協議会委員 6名 署長ほか 3名
------	-----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 採用状況
警視庁全体で、令和7年の受験勸奨数2,827人
昭島署で、令和7年の受験勸奨数84人
昭島署の採用活動について
- 2 交通事故発生状況(12月末時点)
 - (1) 発生件数・・・301件(前年比-50件)
 - (2) 自転車の関与する事故・・・145件(前年比-26件)
 - (3) 高齢者の関与する事故・・・110件(前年比-20件)
 - (4) 加療一か月以上の重傷事故・・・26件(前年比-11件)
- 3 管内自転車盗認知状況(12月末時点)
 - (1) 認知件数・・・294件(前年比-148件)
 - (2) 被害場所内訳
 - ア 住宅敷地内・・・138件
 - イ 駐車場・店舗等・・・140件
 - ウ 路上、空き地・・・16件
 - (3) 無施錠での被害・・・202件
- 4 特殊詐欺等の被害実態
 - (1) 手口別の認知件数と被害額(12月末時点)
 - ア オレオレ詐欺
認知件数・・・11件、被害額・・・3,348万円
(前年比+3件、+469万円)
 - イ 預貯金詐欺
認知件数・・・1件、被害額・・・74万円(前年比-2件、-136万円)
 - ウ 架空料金請求詐欺
認知件数・・・2件、被害額・・・49万円(前年比±0件、+29万円)
 - エ 還付金詐欺
認知件数・・・5件、被害額・・・675万円(前年比-1件、-96万円)
 - オ 総計
認知件数・・・19件、被害額・・・4,146万円
(前年比-4件、-75万円)
 - (2) 手口別の認知件数と被害額(2月末時点)
 - ア オレオレ詐欺
認知件数・・・2件、被害額・・・220万円
(前年比+1件、+33万円)
 - イ 預貯金詐欺
認知件数・・・0件、被害額・・・0万円(前年比±0件、±0万円)
 - ウ 架空料金請求詐欺
認知件数・・・0件、被害額・・・0万円(前年比-2件、-50万円)
 - エ 還付金詐欺
認知件数・・・0件、被害額・・・0万円(前年比±0件、±0万円)
 - オ 総計
認知件数・・・2件、被害額・・・220万円
(前年比+1件、-17万円)
- 5 アポ電の入電状況
 - (1) 令和7年12月末日現在、890件(前年比+369件)
 - (2) 令和8年2月末日現在、80件(前年比-96件)

- 6 その他
令和8年1月11日 第71回昭島市新春駅伝競走大会 第1位(壮年の部及び一般の部)

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 採用関連
 - ア 昭島署で署員のみが出演する採用動画を作成した。
 - イ 昭島市民駅伝大会時に選手に「昭島警察署」入りのアームカバーを着装し出場した。またサインカーを使用して警察官採用のスライドを流した。
 - (2) 協議会の実施回数について
令和8年度から会議開催回数を3回か4回にするか諮り、負担にならないように原則3回とし、必要があるときに4回とする。
- 2 協議会からの意見要望等
 - (1) 昭島署でイベントがあるときに情報共有をしてもらいたい。
【回答】ホームページに掲載するようにしたい。
 - (2) チラシ等はスーパーのサッカー台に置いたり、病院に置いてもらうようにしてはどうか。
【回答】交通総務係や防犯係から各施設に依頼するようにしたい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

令和07年度 第3回 昭島警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年12月17日 午前09時00分～午前10時00分

開催場所	昭島警察署 署長室	出席者	協議会委員 7名 署長ほか 3名
------	-----------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、新たに委嘱された乙訓委員に委嘱状を交付した。

[業務説明]

- 1 交通事故発生状況（11月末時点）
 - (1) 発生件数・・・265件（前年比 - 69件）
 - (2) 自転車の関与する事故・・・125件（前年比 - 33件）
 - (3) 高齢者の関与する事故・・・96件（前年比 - 29件）
 - (4) 加療一か月以上の重傷事故・・・25件（前年比 - 10件）

- 2 管内自転車盗認知状況（11月末時点）
 - (1) 認知件数・・・267件（前年比 - 145件）
 - (2) 被害場所内訳
 - ア 住宅敷地内・・・125件
 - イ 駐車場・店舗等・・・127件
 - ウ 路上、空き地・・・15件
 - (3) 無施設での被害・・・186件

- 3 特殊詐欺等の被害実態
 - (1) 手口別の認知件数と被害額（11月末時点）
 - ア オレオレ詐欺
認知件数・・・11件、被害額・・・3,348万円
（前年比+3件、+469万円）
 - イ 預貯金詐欺
認知件数・・・1件、被害額・・・74万円（前年比 - 2件、 - 136万円）
 - ウ 架空料金請求詐欺
認知件数・・・2件、被害額・・・49万円（前年比±0件、+29万円）
 - エ 融資保証金詐欺
認知なし（前年も認知なし）
 - オ 還付金詐欺
認知件数・・・4件、被害額・・・585万円（前年比 - 2件、 - 186万円）
 - カ 詐欺盗
認知なし（前年比±0件、±0万円）
 - キ 総計
認知件数・・・18件、被害額・・・4,056万円
（前年比 - 2件、 - 165万円）
 - (2) 被害事例と犯行手口の傾向について
市役所職員をかたり医療給付金があると申し向け、コンビニATMを操作させて現金を詐取した被害事例
 - (3) 未然防止件数と被害防止額（11月末時点）
 - ア 未然防止件数・・・11件（前年比 - 10件）
 - イ 未然防止額・・・1,030万円（前年比 - 980万円）
 - (4) 未然防止事例紹介
被害者が市役所をかたり還付金があると言われたため、携帯電話で通話しながら金融機関内のATMを操作していたところ、目撃者が金融機関の窓口連絡した。金融機関の店長が被害者の元に駆けつけ、電話を代わって犯人と会話したところ電話が切れたため、被害を未然に防ぐことができた。
 - (5) アポ電の入電状況（11月末時点）
 - ア 856件（前年比+383件）
 - イ 1月と4月に件数が増えている
 - (6) 防犯アプリデジボリスの追加機能
2016年から警視庁が公開している防犯アプリ「デジボリス」に12月1日から新しい機能として「国際電話番号ブロックシステム」が追加された。
アンドロイド版とiOS版で機能の違いはあるが、いずれも警察が把握している特殊詐欺等に使用された電話番号からの着信を自動でブロックすることができる。

4 各種大会結果

- (1) 第100回警視庁柔道大会(11月11日~12日)第3位
(副署長が術科精励賞を受賞)
- (2) 第75回警視庁職員駅伝競走大会(12月9日)第4位
- (3) 武道始式(令和8年1月6日)

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

1 署長から協議会への説明内容

(1) 特別点検の意義

特別点検とは、「警察官の職務執行に必要な諸般の状況を検査し、その不備な点を訓練整備して、厳正な規律を養うこと」を目的とし、都民応接上の服装、身だしなみ及び職務執行に必要な装備品の状況を確認するとともに、職員一人一人が緊張感を持って自身の姿勢態度を正し、規律を涵養するためにも不可欠なものであり、警察点検規範に定められている。昭島署では毎月実施している。

(2) 自転車盗難に対する抑止対策

ア 管理されている駐車場であっても盗難被害が発生している。

イ 被害件数に占める無施錠の自転車の割合が多いことから、施錠を徹底するよう呼び掛けていく。

(3) 特殊詐欺抑止対策

特殊詐欺に国際電話が使用されていることが多いため、デジポリスの新機能である国際電話番号ブロックシステムを活用してもらい、不用意に知らない電話に出ないことで詐欺被害を防ぐことができる。

2 協議会からの意見要望等

(1) 預貯金詐欺とはどのような手口の詐欺か教えてほしい。

【回答】犯人が公的機関等を名乗り、パスワード等を聞き出しキャッシュカード等をだまし取る詐欺のこと。

(2) 高齢者はデジポリスの登録をするのは難しいと思うがどうすればいいか。

【回答】デジポリスの広報用のチラシを活用してもらおうとともに、防犯係員を派遣することもできるので、遠慮せず言ってもらいたい。

(3) 広報用のチラシはコピーしてもいいのか。

【回答】コピーをしてもよいので、広く活用していただきたい。

(4) 警察官を装った新しい手口の詐欺が発生しているが、どのような対策をしているのか教えてほしい。

【回答】警察官をかたる手口の詐欺は、最初に国際電話の番号からかかってくる人が多いため、引き続き、デジポリスや国際電話の不取扱サービスの普及促進に努めていく。

[その他の意見要望等]

なし

その他

令和07年度 第2回 昭島警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年09月26日 午前10時00分～午前11時00分

開催場所 昭島警察署 署長室
出席者 協議会委員 6名
署長ほか 3名

内 容

[業務説明]

- 1 交通事故発生状況（8月末時点）
 - (1) 発生件数・・・195件（前年比 - 52件）
 - (2) 自転車の関与する事故・・・90件（前年比 - 36件）
 - (3) 加療一か月以上の重傷事故・・・20件（前年比 - 9件）
 - (4) 高齢者の関与する事故・・・72件（前年比 - 21件）

- 2 管内自転車盗認知状況（8月末時点）
 - (1) 認知件数・・・187件（前年比 - 104件）
 - (2) 被害場所内訳
 - ア 管理駐輪場・・・53件
 - イ 店舗駐輪場・・・49件
 - ウ 住宅駐輪場・・・68件
 - エ 路上、空き地・・・17件
 - (3) 無施錠での被害・・・129件

- 3 特殊詐欺等の被害実態
 - (1) 手口別の認知件数と被害額（8月末時点）
 - ア オレオレ詐欺
認知件数・・・7件、被害額・・・997万円（前年比 + 2件、 - 473万円）
 - イ 預貯金詐欺
認知件数・・・1件、被害額・・・74万円（前年比 - 2件、 - 136万円）
 - ウ 架空料金請求詐欺
認知件数・・・1件、被害額・・・40万円（前年比 + 1件、 + 40万円）
 - エ 融資保証詐欺
認知なし（前年も認知なし）
 - オ 還付金詐欺
認知件数・・・2件、被害額・・・390万円（前年比 - 3件、 - 293万円）
 - カ 詐欺盗
認知なし（前年比 - 2件、 - 227万円）
 - キ 総計
認知件数・・・11件、被害額・・・1,501万円
（前年比 - 4件、 - 1,089万円）
 - (2) 被害事例と犯行手口の傾向について
 - ア 市役所職員をかたり還付金があると申し向け、ATMを操作させて現金を詐取した被害事例
 - イ 警察官をかたり、SNSで偽物の警察手帳や逮捕状の写真を見せる手口が増加
 - (3) 未然防止件数と被害防止額（8月末時点）
 - ア 未然防止件数・・・8件（前年比 - 10件）
 - イ 未然防止額・・・930万円（前年比 - 449万円）
 - (4) 未然防止事例紹介
家電量販店の従業員が、携帯電話を購入しようとした被害者の購入理由を不審と感じ、携帯電話を販売せず通報したことで未然に被害を防いだ事例
 - (5) アポ電の入電状況（8月末時点）
664件（前年比 + 366件）

- 4 管内の警備情勢
 - (1) 警備活動について
 - ア 警護警備の実施結果
 - イ 雑踏警備の実施結果
 管内における祭礼行事、お祭りにおける警備を異常なく終了した。
 - (2) 災害対応について

- ア 管内危険箇所の紹介
 - (ア) 浸水・冠水予想区域
 - (イ) 崩落・土砂崩れ危険予想箇所
 - (ウ) 倒木による通行困難箇所
- イ 警戒レベルと避難指示について
- ウ 震災について
 - (ア) 首都直下地震による被害予想
 - (イ) 南海トラフ地震による被害予想
 - (ウ) 阪神・淡路大震災を踏まえた自助・共助・公助の重要性

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 自転車盗難に対する抑止対策
 - ア 管理されている駐車場であっても盗難被害が発生している。
 - イ 被害件数に占める無施錠の自転車の割合が多いことから、施錠を徹底するよう呼び掛けていく。
 - (2) 特殊詐欺抑止対策
 - ア 国際電話不取扱受付センターへの申込み促進
 - イ 管内協力企業の総会、古物講習会等の場における特殊詐欺防止講話、動画上映
- 2 協議会からの意見要望等
 - (1) アボ電が掛かってくるが、なぜ電話番号や名前が知られてしまうのか。流出を防ぐ手立てはないのか。
 - 【回答】情報社会において個人情報等の流出を防ぐことは困難である。警察としては捜査活動を通じて名簿等を入手した際には入手経路の解明に努めている。名簿に載っている番号等については、今後特殊詐欺等に利用されることを前提に、事前に注意喚起の連絡をするなどの対策を実施している。
 - (2) アボ電で実在する警察署の電話番号が表示されることはあるのか。本物の電話番号が表示されたらどう対応すればいいのか。
 - 【回答】他の警察署ではあるが、警察署の番号から電話が掛かってきたという事例はある。「警察官が電話で金銭に関する話をすることはない」ということを前提に、一度電話を切って相手が名乗った警察署に確認をしていただきたい。
 - (3) 国際電話不取扱受付は、携帯電話では対応していないのか。
 - 【回答】防犯アプリのデジポリスに携帯電話に掛かってくる国際電話を遮断する機能が追加される予定である。

[その他の意見要望等]

- 1 自治会や包括支援センターで防犯講話等を行っているが、自治会の加入率は2割くらいであり、住民の8割は講話を聞けていない。裾野を広げる手立てはないか。
 - 【回答】お祭りや企業の総会等の場で防犯パンフレット等を配布し、情報を広く発信していく。
- 2 高齢者は孫の話をよく聞くので、学校等の場で子供に対して防犯講話を実施することを検討してみてもどうか。
 - 【回答】防犯講話等の要請があれば開催する。講話の内容に応じて担当する係で施策を実施できるように検討する。

その他

令和07年度 第1回 昭島警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年06月18日 午前10時30分～午前11時30分

開催場所 昭島警察署 屋内点検場 出席者 協議会委員 6名
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち、会長・副会長を互選した。

[業務説明]

- 1 交通事故発生状況（5月末時点）
発生件数・・・115件（前年比-33件）
（1）自転車の関与する事故・・・53件（前年比-21件）
（2）加療1ヶ月以上の重傷事故・・・9件（前年比-10件）
（3）高齢者の関与する事故・・・45件（前年比-10件）
- 2 管内自転車盗認知状況（5月末時点）
（1）認知件数・・・108件（前年比-31件）
（2）被害場所内訳
ア 管理駐輪場・・・26件
イ 店舗駐輪場・・・30件
ウ 住宅駐輪場・・・45件
エ 路上、空き地 7件
（3）無施錠での被害・・・75件
- 3 特殊詐欺等の被害実態
（1）手口別の認知件数と被害額（5月末時点）
ア オレオレ詐欺
認知件数・・・4件、被害額・・・883万円（前年比+1件、-117万円）
イ 預貯金詐欺
発生なし（前年比-3件、-210万円）
ウ 架空料金請求詐欺
認知件数・・・1件、被害額・・・40万円（前年比+1件、+40万円）
エ 融資保証詐欺
発生なし（前年も発生なし）
オ 還付金詐欺
認知件数・・・1件、被害額・・・297万円（前年比-4件、-386万円）
カ 詐欺盗
発生なし（前年比-2件、-227万円）
認知件数・・・6件、被害額合計1,220万円
（前年比-7件、-900万円）
（2）被害事例と犯行手口の傾向について
ア 警察官をかたり、SNSで警察手帳や逮捕状を見せる手口による被害事例
イ 20代から40代の若い世代の被害が増加している。
（3）未然防止件数と被害防止額（5月末時点）
ア 4件（前年比-12件）
イ 700万円（+419万円）
（4）未然防止事例の紹介
金融機関職員が、窓口来訪者の言動が曖昧であることに気づきホットライン通報したことで、被害が未然に防がれた事例
（5）アポ電の入電状況（5月末時点）
516件（前年比+315件）

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
（1）自転車盗難に対する抑止対策
被害件数に対する無施錠自転車の割合に鑑み、施錠の徹底の呼び掛け
（2）特殊詐欺被害抑止対策
ア 国際電話不取扱受付センターの周知及び申込みの促進
イ 各種防犯キャンペーンを通じた特殊詐欺の最新手口の周知徹底

- 2 協議会からの意見要望等
他署管内で小学校への不審者侵入事件があったが、昭島市内の学校ではどのような対策をしているのか教えてほしい。
【回答】昭島市と連携して、市内の学校に対し、不審者対処訓練や避難誘導訓練を実施している。

[その他の意見要望等]

- 6月1日から事業所の熱中症対策が義務化されたが、炎天下で活動する機会が多い警察署は対策を講じているか。
【回答】法令に則り諸対策を実施するほか、就勤時の指示等で熱中症に対する注意喚起をするなどの対策を行っている。

その他

令和06年度 第4回 昭島警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年03月13日 午前10時00分～午前11時00分

開催場所	昭島警察署 署長室	出席者	協議会委員 7名 署長ほか 3名
------	-----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 交通事故抑止対策
 - (1) 人身事故発生状況(令和7年2月末日現在)
 - ア 発生件数 36件(昨年比-21件)
 - イ 自転車を含む事故件数 17件(昨年比-14件)
 - ウ 加療1ヶ月以上の重傷事故 1件(昨年比-4件)
 - (2) 交通事故多発場所
 - ア 昭島駅周辺
 - イ 中神駅周辺
 - ウ 宮沢町交差点付近(昭島市宮沢町2-37)
 - エ 多摩大橋北交差点付近(昭島市福島町3-23)
 - オ 昭島市クリーンセンター入口交差点付近(昭島市郷地町2-33)
- 2 管内自転車盗認知状況(令和7年2月末日現在)
 - (1) 発生件数 49件(昨年比+2件)
 - (2) 被害場所内訳
 - ア 管理駐輪場 13件
 - イ 店舗駐輪場 14件
 - ウ 住宅駐輪場 20件
 - エ 路上、空き地 2件
 - (3) 被害発生時、未施錠状態の件数 29件
- 3 特殊詐欺等の被害状況
 - (1) 手口別の認知件数と被害額(令和7年2月末日現在)
 - ア オレオレ 1件・187万円(昨年比±0件・+37万円)
 - イ 預貯金 0件・0円(昨年比-2件・-160万円)
 - ウ 架空請求 2件・50万円(昨年比+2件・+50万円)
 - エ 融資保証金 0件・0円(昨年比±0件・±0円)
 - オ 還付金 0件・0円(昨年比±0件・±0円)
 - カ 詐欺盗 0件・0円(昨年比-2件・-227万円)
 - 計3件・237万円(昨年比-2件・-300万円)
 - (2) 被害事例の紹介と犯行手口の傾向
 - ア 通信会社職員、警察官を騙る手口により187万円を詐取された事案
 - イ 従来の警察官を騙る手口がさらに巧妙になってきている。
 - (3) 未然防止件数と被害防止額(令和7年2月末日現在)
 - ア 2件(昨年比-3件)
 - イ 0円(昨年比-20万円)
 - (4) 未然防止事例の紹介
 - 金融機関職員による詐欺被害の未然防止事例
- 4 各種警備実施結果
 - (1) 警備実施事象
 - ア 拝島大師初詣・だるま市
 - イ 第70回昭島市新春駅伝競走大会
 - ウ 第71回昭島市はたちのつどい
 - (2) 警備実施結果
 - 各警備事象とも特異事案なく警備を実施した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 交通事故発生抑止対策

- ア 二輪車ストップ作戦
 - (ア) 二輪車事故防止啓発グッズの配布
 - (イ) ヘルメットのあごひも確認とプロテクター着装の推進
- イ 交通安全協会による高齢者等の交通事故防止キャンペーン
 - (ア) 自転車利用者・歩行者への交通事故防止の呼びかけ
 - (イ) 自転車の飲酒運転と携帯電話使用禁止チラシの配布
 - (ウ) マイナ免許証を周知するための広報活動の実施
- ウ 交通安全教育の推進
 - (ア) 企業、小学校入学予定児童の保護者を対象とした交通安全講話の実施
 - (イ) 保育園園児に対する模擬信号使用による歩行訓練と路上での歩行訓練の実施
- (2) 特殊詐欺被害抑止対策
 - ア 広報啓発の推進
 - (ア) 高齢者宅の訪問時にナンバーディスプレイ無料化の周知及び申込みの促進
 - (イ) 国際電話不取扱受付センターの周知及び申込みの促進
 - (ウ) 特殊詐欺被害防止イベントの実施
 - イ 被害防止対策
 - (ア) 地域包括支援センター、老人会理事会における防犯講話の実施
 - (イ) 年金支給月における特殊詐欺被害防止キャンペーンの実施
 - (ウ) 警察署の幹部職員による金融機関職員を対象とした連絡指導の実施
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 車道を逆走する(右側を通行する)自転車を見かけるが、交通ルールが浸透していないと思う。
 - 【回答】交通ルールが浸透するのに時間を要するかもしれないが、根強く広報啓発活動を実施して、危険性や違法性について認識してもらえるようにしていく。
 - (2) 巨大な物流センターが建設予定があるが、建設工事や周辺の道路の交通量の増加に対して対策はとられるのか。
 - 【回答】必要に応じて、信号機の設置や道路の規制等、警察として可能な範囲で対処する。

[その他の意見要望等]

小学校の開門時間が遅いため、登校した生徒が周辺の道路にはみ出している。道幅が狭く、大型車両も頻繁に通行するため、何か対策を講じてほしい。
 【回答】市議会において、開門時間を早くするために予算を確保して人材を雇うことを検討しているが、開始時期については未定と聞いている。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第3回 昭島警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年12月11日 午前10時00分～午前11時00分

開催場所 昭島警察署 署長室

出席者 協議会委員 7名
署長ほか 4名

内容

会議に先立ち、交通課長の出席について各委員から承認を得た。

[業務説明]

犯罪抑止対策の推進状況

- 1 犯罪の発生状況（令和6年11月末日現在）
 - (1) 重要犯罪
 - ア 重要犯罪の種類（6罪種）
強盗、侵入窃盗、性犯罪、特殊詐欺、子供に対する犯罪、自動車盗
 - イ 管内の発生
6罪種で計42件
 - (2) 増加傾向の犯罪（昨年比）
 - ア 強盗 3件増加
 - イ 特殊詐欺 4件増加
 - ウ 自転車盗 121件増加
- 2 特殊詐欺の現状と対策（令和6年11月末日現在）
 - (1) 特殊詐欺の種類（6罪種）
オレオレ、預貯金、架空請求、融資保証、還付金、詐欺盗
 - (2) 管内の発生状況
 - ア 発生24件、被害額4,281万円
 - イ 発生事例と傾向
(ア) 警察官をかたった架電により1,000万円を詐取された事案が発生
(イ) 従来の親族をかたる手口から、警察官等をかたる手口へと変化
 - (3) 広報啓発の推進
 - ア 地域と協働した防犯広報
民生委員、ヤクルト販売員に防犯チラシの配布を依頼
 - イ SOS47特別支援官の招致
吉原朝馬特別支援官を招き、防犯講話や特殊詐欺被害防止教室を実施
 - (4) 今後の被害抑止対策
 - ア 無人ATMにおける警戒の強化
 - イ 署幹部による金融機関への訪問と防犯指導の実施

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
交通事故の抑止
 - (1) 管内の交通人身事故発生状況（令和6年10月末日現在）
 - ア 発生件数
304件（昨年比85件減）
 - イ 死傷者数
死者1名、重傷者312名、軽傷者312名
 - ウ 交通死亡事故の概要
自転車と高齢者の運転する乗用車の追突事故（3月10日発生）
 - (2) 各種事故防止対策
 - ア 春・秋の全国安全運動キャンペーン
(ア) 市役所前での児童に対する横断歩道通行訓練
(イ) 市役所駐車場での騎馬隊騎乗体験
(ウ) 車両による管内広報活動
 - イ 交通安全教育の推進
(ア) 交通安全の講話・教室
高齢者集会、管内学校において実施
(イ) 昭島市との連携
学校の校庭でのスケアードストレート（スタントマンの事故再現）
- 2 警察署協議会からの意見要望等
交通事故防止について

- (1) 死亡事故の原因が高齢運転者のブレーキの踏み間違いであれば、防ぐ方法はないように思う。
- 【回答】・ 原因はブレーキの踏み間違いも考えられるが推測の域を出ない。
・ 誰もが被害者にも加害者にもなり得ることから、年代を問わず事故防止のための教育を継続する必要がある。
- (2) 客観的に運転が困難と思われるような高齢者でも、運転免許を更新できてしまう現状には不安がある。
- 【回答】・ 教習所での免許証更新については全国一律の基準が設けられ、地域の実情等に照らして返納させるようなことはできない。
・ 家族や医師等、周囲の人から高齢者に対して免許証返納を促してもらうよう働き掛けていく。

[その他の意見要望等]

知人から「不審者に遭遇したが通報しなかった」と聞いたが、管内での不審者に関する事案の発生状況や対処方法を教えてほしい。

- 【回答】・ 管内でも不審者の目撃情報はあり、不審者の確保に至った事案もある。
・ 不審者に遭遇した際は、時間が経過していても110番通報してほしい。
・ 通報があれば捜査員が臨場し、デジボリス等で不審者情報を発信するとともに、警戒強化、防犯カメラ捜査等により不審者確保に努める。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第2回 昭島警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年09月18日 午前09時50分～午前11時00分

開催場所 昭島警察署 署長室
出席者 協議会委員 5名
署長ほか 4名

内容

会議に先立ち副署長、警備課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 犯罪抑止対策の推進状況
 - (1) 主要犯罪の発生状況(令和6年8月末現在)
 - ア 重要犯罪
 - (ア) 強盗、侵入窃盗、性犯罪、特殊詐欺、子供対象犯罪、自動車盗の6罪種
 - (イ) 計29件発生
 - イ 各種犯罪の発生状況(昨年比)
 - (ア) 侵入窃盗 7件減少
 - (イ) 性犯罪 3件増加(検挙4件増加)
 - (ウ) 自転車盗 43件増加
 - (2) 犯罪抑止対策活動の実施状況
 - ア 広報啓発活動
 - 被害防止チラシを祭礼会場で来場者に配布
 - イ 高齢者の被害防止
 - 老人会理事会での防犯講話の実施
- 2 警備業務の推進状況
 - (1) 主要な警備活動
 - ア 警護警備
 - 外国要人来日に伴う交通規制
 - イ 雑踏警備
 - (ア) 立川まつり 国営昭和記念公園花火大会
 - (イ) 拝島大師初詣
 - (ウ) 市制70年記念昭島市民くじら祭り
 - (2) 災害対策の概要
 - ア ハザードマップについて
 - (ア) 多摩川浸水予想地区
 - (イ) 崩壊危険箇所
 - イ 大震災発生時の被害予想と諸対策
 - (ア) 首都直下型地震
 - (イ) 南海トラフ地震

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 今後の特殊詐欺被害防止対策
 - (1) 管内特殊詐欺の現況(令和6年8月末現在)
 - ア 発生 15件
 - 内訳：オレオレ詐欺5件、預貯金詐欺3件、還付金詐欺5件、詐欺盗2件
 - イ 未然防止 18件
 - 内訳：オレオレ詐欺4件、還付金詐欺7件、架空請求5件、その他2件
 - ウ 管内で発生したオレオレ詐欺の概要
 - 発生日時、場所、手口、被害金額等
 - エ 予兆電話(アポ電)の入電状況
 - 298件(昨年同月比41件増加)
 - (2) 今後の抑止対策
 - ア 高齢者の被害防止対策
 - 戸別訪問によるナンバーディスプレイ(70歳以上の居住者がいれば無料)の加入促進
 - イ 広報啓発活動
 - (ア) 国際電話を使用した手口
 - 「国際電話不取扱受付センター」の周知と申込み促進
 - (イ) 民間との協働

- ヤクルト販売店等に被害防止チラシ配布を依頼
- 2 警察署協議会からの意見要望等
特殊詐欺の被害はどの段階で発覚しているのか。また、それを踏まえてどのような対策を実施しているのか。
- 【回答】・ 被害者が金銭を振り込んだことを家族に話した時点で被害に気付くケースが多い。
・ 最新手口等の情報を発信するとともに、銀行や郵便局に引き出し限度額低減等を要請して、被害者に対する注意喚起と物理的な被害抑止の両輪で対策を推進している。

[その他の意見要望等]

自転車について、大人による一方通行逆走や傘差し運転が散見されるなど運転マナーが悪いので、改善に向けた対策を講じてほしい。

【回答】9月21日から実施する全国交通安全運動をはじめとした諸活動や、企業等での交通安全講習等を継続して推進する。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第1回 昭島警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年06月12日 午前10時30分～午前11時30分

開催場所 昭島警察署 署長室
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 3名

内容

[業務説明]

犯罪抑止対策の推進状況について

- 1 主要な犯罪（令和6年）
 - (1) 重要犯罪（6罪種）
強盗、侵入窃盗、性犯罪、特殊詐欺、子供対象犯罪、自動車盗
 - (2) 発生の顕著な犯罪
車上ねらい、自転車盗
 - (3) 当署の認知状況（昨年との比較）
ア 強盗、車上ねらい、自転車盗が増加
イ 特に自転車盗は前年比162件増加
ウ その他の犯罪は昨年とほぼ変わらず推移
 - (4) 会議直前に発生した強盗事件の概要
ア 発生直後、周辺の学校と情報共有して集団下校等の対策を促進
イ 検挙に至った状況
- 2 犯罪抑止対策活動の実施状況
 - (1) 特殊詐欺被害防止教室
管内学校でSOS47（山崎怜奈氏）を招致して開催
 - (2) 痴漢撲滅キャンペーン
拝島駅において、防犯協会、鉄道各社、管内学校と協働して実施

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
今後の犯罪抑止活動（特殊詐欺被害防止）について
 - (1) 管内の特殊詐欺の現況（令和6年5月末時点）
ア 発生件数
10件（オレオレ詐欺3件、預貯金詐欺2件、還付金詐欺3件、詐欺盗2件）
イ 未然防止件数
14件（オレオレ詐欺1件、架空請求5件、還付金6件、その他2件）
ウ 管内で発生したオレオレ詐欺の概要
発生日時、場所、手口、被害金額等
エ 予兆電話（アポ電）の入電状況
201件（昨年比18件増加）
 - (2) 今後の抑止対策
ア 無人ATMへの警戒を強化
金融機関、コンビニエンスストアとの連携
イ 警察官の早期配備
アポ電入電時や受け子の情報入手時の迅速な検挙体制
ウ 現場設定の実施
「だまされたふり」で犯人検挙
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 未遂を含めて詐欺の被害に遭った高齢の知人が複数いるので、高齢者の被害防止対策を講じてほしい。
 - (2) 高齢者を対象とした被害防止の講習会を、老人会や社会福祉協議会等の機会に開催してほしい。
【回答】・毎月、管内の病院で詐欺対策の講習会を実施している。
・講習会開催の要望があれば、駐在所や専務員が必ず実施する。

[その他の意見要望等]

なし

その他	会議前に事務局員 1 名の交代について報告した。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。